

事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

事務事業名	舗装二次改築事業			事業コード	1440
所属コード	81000	課等名	道路管理課	係名	維持係
課長名	近藤 春彦	担当者名	大丸 篤志	内線番号	2711
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	快適な居住環境の実現	コード	3
	基本事業	生活道路環境の向上	コード	1
予算費目名	一般会計 8 款 2 項 2 目 舗装二次改築事業 (001-04)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	不明年度	
根拠法令等	道路法第 16 条			

(2) 事務事業の概要

盛岡市内の道路交通の安全確保を図るために、老朽化が進行した道路の舗装を二次改築する事業。

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

道路管理者が行う維持管理業務。市道の安全な通行確保, 及び沿道の環境整備。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

厳しい財政状況のもと, 全ての市民要望への対応は不可能であることから, 緊急性を考慮して計画的に整備していく必要がある。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

道路機能が著しく低下し, 舗装二次改築が必要な路線

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 見込み
A 舗装二次改築必要延長	m	17,025	17,025	17,025	17,025	17,025
B						
C						

(3) 24年度に実施した主な活動・手順

既存道路機能及び交通安全を確保するため、要望・苦情等による舗装補修（穴埋め補修等）及び清掃等を実施

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 舗装二次改築予算措置延長	m	1,230	1,748	5,400	5,495	17,025
B						
C						

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

安全な通行の確保, 沿道の環境整備 (振動・騒音)

(6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 舗装二次改築整備延長累計	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	m	9,531	10,631	16,031	16,126	17,025
B 舗装二次改築達成率(整備延長累計/ 必要延長)	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	56	62	94	94	100
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる						

	□維持						
--	-----	--	--	--	--	--	--

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績
事業費	①	千円	38,014	44,584	237,050	162,242
	② 県	千円	0	0	0	0
	② 方債	千円	29,600	34,700	174,500	119,400
	④一般財源	千円	1,976	3,929	19,450	13,345
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	70,917	83,213	431,000	294,987
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	691	810	4,195	2,871
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	2,764	3,240	16,780	11,484
計	トータルコスト A+B	千円	73,681	87,263	447,780	306,471
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

整合性はとれている。

理由：事業の実施により、円滑な交通が確保される。

② 市の関与の妥当性

法定事務であり妥当である。

③ 対象の妥当性

法定事務であり妥当である。

④ 廃止・休止の影響

影響がある。(快適で安全な道路環境が保てない。)

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

向上余地はない。(緊急性を考慮し、限られた予算の中で事業実施しているものであり、現状より向上は困難である。)

(3) 公平性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

特定な受益者はいない。

(4) 効率性評価

適正な積算基準・仕様で設計・積算をしていることから、削減することは出来ない。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

現状維持

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

老朽化が進んでいる市道の舗装二次改築を行い、市道の安全で円滑な交通の確保を図るため必要な事業である。